

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

世界最大のハト「オウギバト」のヒナ、今が一番かわいいときです



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、2021年6月19日（土）に2階「うごきにふれる」ゾーンでオウギバトのヒナ（1羽）が生まれました。

親鳥がおなかの下で子育て中で、なかなか姿を見ることができませんでしたが、成長とともに顔をのぞかせるようになり、愛らしい姿と微笑ましい子育ての様子をご覧いただけるようになってきました。

オウギバトは、最大で全長70cmになる世界最大のハトの仲間です。絶滅が危惧されており、ワシントン条約の付属書IIや国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストに掲載されています。

ニフレルでは「うごきにふれる」ゾーンで計5羽（ヒナ含む）を飼育展示中で、今年1月頃から親鳥が高さ約2mの柱の上に巣を作りはじめ、5月21日に産卵を確認しました。貴重な卵を無事にふ化させるため、親鳥には擬卵を抱かせ、卵をバックヤードのふ卵器で大切に温めていたところ、6月17日に卵からヒナの鳴き声が聞こえたことから、すぐに親鳥の元に戻し、観察を強化しておりましたが、6月19日にヒナの誕生を確認しました。



ふ化翌日のまだ眼が開いていないヒナ（6月20日撮影）

現在ヒナの大きさは約20cmほどで、本種の特徴である頭頂部の扇状の冠羽（かんむりばね）が生え始めており、子どもらしいあどけなさを感じさせます。

ニフレルでオウギバトが誕生するのは、2018年12月に続いて3羽目です。

本件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 田井、西前

TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

【オウギバトの幼鳥について】



《産卵日》2021年5月21日(金)

《孵化日》2021年6月19日(土)

《性別》不明(後日DNA鑑定により判別の予定)

《大きさ》約20cm(7月6日時点での目測)

※ヒナの健康状態や育雛の状況により、予告なくバックヤードに移動させる場合があります。

《お問い合わせ》ニフレインフォメーション TEL:0570-022060(ナビダイヤル)

【オウギバトについて】

世界最大のハトの仲間で、体長約70cm、体重約2.5kgになる。インドネシアやパプアニューギニアに生息。

エサは果物、種子、昆虫など。2から10羽の群れを作り、日中のほとんどの時間を地面で過ごす。

生息地の森林伐採や開発などにより数が減少しており、ワシントン条約では付属書Ⅱに、IUCN(国際自然保護連合)のレッドリストでも近危急種に分類されている。

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》

名 称	NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館(本社:大阪市港区、社長:三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	平日 10:00~18:00、土・日 9:30~19:00(最終入館は閉館の1時間前まで) ※状況により変更する場合があります。
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる(生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、ミュージアムショップ「NIFREL×NIFREL」
入 館 料 金	大人(16歳以上)・高校生 2,000円、小・中学生 1,000円、幼児(3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台(EXPOCITY全体用駐車場)
構 造 規 模	S造(一部SRC造、RC造)3階建
建 築 面 積	約3,500㎡(約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡(約2,180坪)

- ※ 公式ホームページ <https://www.nifrel.jp>
- ※ ツイッター https://twitter.com/nifrel_official
- ※ Facebook <https://www.facebook.com/nifrel.jp>
- ※ インスタグラム https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL

